

事務連絡
令和4年12月22日

各都道府県教育委員会指導事務主管課
各指定都市教育委員会指導事務主管課
各都道府県私立学校事務主管課 御中
各国立大学法人附属学校事務主管課
各公立大学法人附属学校事務主管課

文 部 科 学 省
初 等 中 等 教 育 局
教 育 課 程 課

令和4年度 第18回研究開発学校フォーラムの開催について（開催案内）

文部科学省では、教育課程の基準の改善に資する実証的資料を得るため、研究開発学校制度を設けています。本制度は、学習指導要領等の現行の教育課程の基準によらない教育課程の編成・実施を認める「研究開発学校」を指定し、その実践研究を通して新しい教育課程・指導方法を開発していくものです。

この度、指定最終年度の「研究開発学校」の研究成果、研究内容を広く一般に公開するため、別添のとおり「第18回研究開発学校フォーラム」を開催することとなりました。

研究開発学校の研究内容に興味をお持ちの方、今後、指定を希望される学校の教職員の方など、多くの方々の御参加をお待ちしています。

については、本フォーラムの開催について、各都道府県教育委員会におかれては、所管の学校及び域内の市町村教育委員会に対し、各指定都市教育委員会におかれては、所管の学校に対し、各国立大学法人及び各公立大学法人附属学校担当課におかれては、所管の学校に対し、各都道府県私立学校主管部課におかれては、所管の学校及び学校法人等に対して、周知いただきますようお願いいたします。

【別添】 令和4年度 第18回研究開発学校フォーラムについて

(参考) 文部科学省ウェブサイト

◇ 研究開発学校制度

https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/kenkyu/

◇ 現在研究開発に取り組んでいる学校（令和4年度）

https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/kenkyu/htm/02_resch/0203_tbl/1280647.htm

◇ 研究発表会、研修会等一覧（令和4年度）

https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/kenkyu/htm/08_news/1284990.htm

<本件担当>

〒100-8959 東京都千代田区霞が関 3-2-2

文部科学省初等中等教育局教育課程課

教育課程企画室企画係（井上、木下、森本）

TEL：03-5253-4111（内線 2367）

FAX：03-6734-3734

E-mail：kyokyo@mext.go.jp

令和4年度 第18回研究開発学校フォーラムについて

1 概要

主として最終年度の研究開発学校による研究発表及びサテライトセッションを行い、研究成果を広く一般に公開することにより、教育研究開発事業の意義について理解を増進するとともに、他校における研究成果の活用及び教育課程・指導方法の充実、改善を促すために実施するものです。

2 主催 文部科学省

3 日時 令和5年1月18日(水) 9:30~17:00(受付 9:00~)

9:30~9:35 開会挨拶
9:35~12:00 研究発表(第1部)
(12:00~13:00 休憩)
13:00~14:55 研究発表(第2部)
14:55~15:40 講評
15:40~15:45 事務連絡
(15:45~16:00 休憩)
16:00~17:00 サテライトセッション
17:00 終了

4 会場 文部科学省 東館3階 講堂
〒100-8959 東京都千代田区霞が関3-2-2
電話:03-5253-4111(内線2367)

なお、研究発表及び講評については、オンラインでライブ配信を行う予定です。

5 プログラムの内容

研究発表及び講評 9:35 ~ 15:40

- ・別紙のスケジュールで研究発表を行います。
- ・各学校の発表後に、文部科学省での参加者と各学校担当者との質疑応答を行います。
- ・全ての学校の発表後に、教育研究開発学校企画評価会議協力者等からの講評を行います。

サテライトセッション 16:00 ~ 17:00

- ・発表校(1校)ごとに設けられたブースにおいて、研究に関する資料等を掲示するとともに、文部科学省での参加者に対して研究内容の説明及び参加者と各学校担当者との質疑応答を行います。

6 参加方法

文部科学省での参加又はオンラインで行うライブ配信の傍聴(研究発表及び講評のみ)を希望する場合は、令和5年1月5日(木)10時00分から同年1月13日(金)16時00分にかけて、以下の登録フォームより登録を行ってください。

ただし、文部科学省で参加する方の定員は100名とし、希望者が多数の場合には、抽選とします。

(参加登録フォーム) <https://forms.office.com/r/ZvC5bVXFCw>

7 新型コロナウイルス感染症対策について

以下に該当する場合は、文部科学省での参加を控えてください。

- ・ 2週間以内に発熱症状（37.5℃以上の発熱及び平熱比1℃以上の発熱）があった場合
- ・ 当日、体調がすぐれない（咳・喉頭痛・息苦しさ・倦怠感・味覚障害など、軽度であっても症状がある）場合
- ・ 新型コロナウイルス感染症感染者（以下「感染者」という。）との濃厚接触がある場合、周りで感染が疑われる方がいる場合

また、文部科学省での参加を希望する場合、新型コロナウイルス感染症対策のため、以下のことを遵守してください。

- ・ 日頃より、手指消毒、咳エチケット及び手洗いを励行してください。
- ・ 当日、マスク（不織布マスク推奨）を持参し正しく着用してください。
- ・ 入場の際は、検温及び手指消毒を行ってください。なお、体温が37.5℃以上の方、体調がすぐれない方、検温を拒否する方の入場はお断りいたします。
- ・ 会場内での会話は出来る限り控えてください。
- ・ 座席は指定席となっております。移動・交換対応は原則として出来かねますので、御了承ください。
- ・ 万が一、参加者の中から感染者が発生した場合、保健所が実施する行動履歴などの調査への御協力をお願いいたします。必要に応じて、公的機関へ参加者様の氏名・住所・連絡先を提供する可能性がございますので、あらかじめ御了承ください（提供いただいた個人情報は適切に管理いたします。本フォーラムに関連するお知らせ又は感染者が確認された場合の感染経路追跡のためにのみ使用し、他の目的では使用いたしません）。また、保健所等から行動制限の要請を受ける可能性がございますので、御了承ください。
- ・ その他、感染防止のために主催者が決めた措置を遵守し、主催者の指示に従ってください。

8 留意事項

新型コロナウイルス感染症の感染状況等により、定員の見直し、オンライン実施への変更又は中止とする可能性があります。その際は別途連絡を行います。

場所	時間	プログラム			
講堂	9:30 ～ 9:35	開会挨拶			
	9:35 ～ 12:00	研究 発表 第1部	東村山市立久米川東小学校	令和元年度 (R1～R4)	外国語科・外国語活動と各教科等との統合を図ったCLIL(内容言語統合型学習)を用いた指導方法を取り入れた研究開発を行い、他者とのコミュニケーションの基盤を育成する学習活動を展開するとともに、創造的思考や感性・情緒等を踏まえた学習活動を展開する中で、英語に触れながら考えたり表現したりすることを通し、豊かなコミュニケーション能力の育成と各教科等における質的学力の向上を目指す。そのために、外国語学習と各教科等の内容を統合させ、そこに深い学びを促す創造的思考や自分の思いや考えをいきいきと表現する感性・情緒等を踏まえた、小学校6年間のカリキュラムとして編成された新教科「eタイム」を創設する。
			福井大学教育学部附属義務教育学校	平成30年度 (H30～R4)	本研究開発は、子供たちが未知なる将来を生き抜くための様々な資質・能力を育むことを目的とする。答えのない課題や、解が複雑に絡み合い多層構造を成す「21世紀社会」の発展のためには、多様な価値を能動的に理解し、様々な人々と合意形成を図りながら共に生き抜くべく、自律的に学ぶ力をもった児童・生徒の育成が急務である。そこで、「社会創生プロジェクト」を、主体的に課題を発見し、協働的に探究を続け、物事の本質を問い続け、省察しながら学び続ける資質・能力を育成する領域として新設する。そして、第1～9学年をつらぬく「社会創生プロジェクト」は、教科特有ではなく汎用的な資質・能力を育成するものであり、9年間の学びを有機的につなぐ重要なものとして教育課程に設定する。一貫した理念をもつ9年間の教育課程を通して、よりよく生き、社会の一形成者として他者と協働しながら、社会に提言し、かつ社会に貢献しようとする資質・能力を備えた子供たちを育成したい。
			京都教育大学附属京都小中学校	平成30年度 (H30～R4)	義務教育9年間で資質・能力を育成するための教育課程の再構築に関する研究開発 (1)義務教育9年間で育てるべき資質・能力の検討と改善 (2)発達段階に応じた各教科における学習の目標と内容の検討及び再構築
			広島大学附属三原中学校 外2校	平成30年度 (H30～R4)	高度に競争的でグローバル化された多様性社会に適應するために求められる、3つの次元(躍動する感性・レジリエンス・横断的な知識)の基礎となる資質・能力を育成する幼小中一貫教育カリキュラムの研究開発
			山口大学教育学部附属山口小学校	平成30年度 (H30～R4)	創出と受容、転移をコアにした教科融合カリキュラムに関する研究開発～「創る科」の創設を通して～
休憩					
講堂	13:00 ～ 14:55	研究 発表 第2部	香川大学教育学部附属坂出中学校	平成30年度 (H30～R4)	予測できない未来に対応して生き抜く能力を育てるため、生徒自らが主体的に課題を設定し、自らの力で解決し、自己の成長や可能性を実感していく異学年合同の「共創型探究学習(CAN)」を創設した場合の教育課程や系統的な支援の研究開発
			福岡教育大学附属福岡小学校	令和元年度 (R1～R4) ※延長指定 (3年間)	未来社会を創造する主体に必要な非認知能力を重視した資質・能力を育成するため、子供の文脈を中心に据えた7つの新教科の枠組みを構築する研究開発
			大分県立安心院高等学校 外9校	令和元年度 (R1～R4) ※延長指定 (3年間)	新教科「地球未来科」の充実と、「地球未来科」で身に付けた力を生かしながら、各教科で異年齢の協働的な学びを行い、主体的な学びの育成を目指す。
			お茶の水女子大学附属幼稚園	平成30年度 (H30～R4)	幼児の発達と学びの連続性を踏まえた幼稚園の教育課程(3歳児～5歳児)の編成及び保育の実際とその評価の在り方についての研究開発
	14:55 ～ 15:40	講評			
15:40 ～ 15:45	事務連絡				
休憩					
講堂 ホワイエ	16:00 ～ 17:00	サテライトセッション			
		東村山市立久米川東小学校 福井大学教育学部附属義務教育学校 京都教育大学附属京都小中学校 広島大学附属三原中学校 外2校 山口大学教育学部附属山口小学校	香川大学教育学部附属坂出中学校 福岡教育大学附属福岡小学校 大分県立安心院高等学校 外9校 お茶の水女子大学附属幼稚園		

会場への案内図

○文部科学省庁舎（東館3階 講堂）

住 所：東京都千代田区霞が関3-2-2

TEL：03-5253-4111

<最寄り駅から>

- ・東京メトロ銀座線「虎ノ門駅」（6番・11番出口）からすぐ（11番出口から直結）
- ・東京メトロ丸ノ内線・日比谷線・千代田線「霞ヶ関駅」（A13番出口）から徒歩5分

※入館に当たって、身分証明書（所属機関が発行したもので、顔写真付きのもの）をお持ちください。

※入館時の混乱を避けるため庁舎への入口は右図のように2F共用ロビーの講堂専用入口を御利用ください。

（専用入口がしまっている場合は、東館2階エントランスへ回ってください）

